

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／国内／株式									
信託期間	2027年11月29日まで（2017年11月17日設定）									
運用方針	主として中長期的な値上がり益の獲得をめざして運用を行います。									
主要運用対象	ベビーフアンド	いちよし 公開ベンチャー・マザーファンド受益証券								
	マザーファンド	わが国の金融商品取引所上場（これに準ずるものを含みます。）株式								
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>わが国の金融商品取引所に上場されている中小型株式（新興市場で取引されている株式を含みます。）の中から、企業の成長性が高く、かつ株価水準が割安であると判断される銘柄を中心に投資します。</li> <li>ボトムアップ・アプローチによる銘柄選定を行い、中長期的な値上がり益の獲得をめざします。</li> </ul>									
主な組入制限	ベビーフアンド	<ul style="list-style-type: none"> <li>株式への実質投資割合に制限を設けません。</li> <li>株式以外の資産への実質投資割合は、原則として信託財産の総額の50%以下とします。</li> <li>外貨建資産への投資は行いません。</li> </ul>								
	マザーファンド	<ul style="list-style-type: none"> <li>株式への投資割合に制限を設けません。</li> <li>株式以外の資産への投資割合は、原則として信託財産の総額の50%以下とします。</li> <li>外貨建資産への投資は行いません。</li> </ul>								
分配方針	<p>分配対象額は、経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額とし、原則として、決算日の前営業日の基準価額に応じ、以下の金額の分配をめざします。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>決算日の前営業日の基準価額</th> <th>分配金額（1万口当たり、税引前）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>11,000円未満</td> <td>経費控除後の配当等収益の範囲内</td> </tr> <tr> <td>11,000円以上13,000円未満</td> <td>500円</td> </tr> <tr> <td>13,000円以上</td> <td>1,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※基準価額が上記の一定の水準に一度でも到達すればその水準に応じた分配を続ける、というものではありません。 ※分配により基準価額は下落します。そのため、基準価額に影響を与え、次期以降の分配金額は変動する場合があります。</p>		決算日の前営業日の基準価額	分配金額（1万口当たり、税引前）	11,000円未満	経費控除後の配当等収益の範囲内	11,000円以上13,000円未満	500円	13,000円以上	1,000円
	決算日の前営業日の基準価額	分配金額（1万口当たり、税引前）								
	11,000円未満	経費控除後の配当等収益の範囲内								
	11,000円以上13,000円未満	500円								
13,000円以上	1,000円									

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。  
※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）」およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。

詳しくは販売会社にお問い合わせください。

## 運用報告書（全体版）

# いちよし ジャパン・ベンチャー・ファンド

第2期（決算日：2019年11月29日）

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
さて、お手持ちの「いちよし ジャパン・ベンチャー・ファンド」は、去る11月29日に第2期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



## 三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号  
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用フリーダイヤル **0120-151034**  
（受付時間：営業日の9:00～17:00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

## 本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

## ○設定以来の運用実績

決算期	基準価額			(参考指数)		株式組入比率	株式先物比率	純資産総額
	(分配落)	税込分配	み期騰落	JASDAQ INDEX	期中騰落			
(設定日)	円	円	%		%	%	%	百万円
2017年11月17日	10,000	—	—	165.39	—	—	—	8,779
1期(2018年11月29日)	9,351	0	△6.5	156.46	△5.4	98.3	—	18,786
2期(2019年11月29日)	9,738	0	4.1	167.74	7.2	98.5	—	13,718

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) JASDAQ INDEXとは、JASDAQ上場の内国株券全銘柄を対象として時価総額加重平均方式に基づき算出される株価指数です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率-売建比率。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		( 参 考 指 数 )		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
		騰 落 率	J A S D A Q	I N D E X		
(期 首)	円	%		%	%	%
2018年11月29日	9,351	—	156.46	—	98.3	—
11月末	9,443	1.0	156.55	0.1	98.9	—
12月末	7,743	△17.2	136.69	△12.6	97.2	—
2019年1月末	8,189	△12.4	145.09	△7.3	98.7	—
2月末	8,597	△8.1	151.98	△2.9	98.2	—
3月末	8,499	△9.1	153.05	△2.2	96.8	—
4月末	8,789	△6.0	153.84	△1.7	97.8	—
5月末	8,098	△13.4	145.16	△7.2	98.6	—
6月末	8,440	△9.7	147.60	△5.7	98.3	—
7月末	8,728	△6.7	151.44	△3.2	98.1	—
8月末	8,154	△12.8	146.13	△6.6	97.7	—
9月末	8,599	△8.0	153.82	△1.7	98.4	—
10月末	9,248	△1.1	159.67	2.1	97.3	—
(期 末)						
2019年11月29日	9,738	4.1	167.74	7.2	98.5	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

# 運用経過

第2期：2018年11月30日～2019年11月29日

## 当期中の基準価額等の推移について

### 基準価額等の推移



第2期首	9,351円
第2期末	9,738円
既払分配金	0円
騰落率	4.1%

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

**基準価額の動き**

基準価額は期首に比べ4.1%の上昇となりました。

**基準価額の主な変動要因****上昇要因**

米国および欧州における金融政策緩和を受けて世界経済悪化への過度な警戒感が後退したことなどを背景に国内株式市況が上昇したことが基準価額の上昇要因となりました。

**下落要因**

米中関係の悪化による景気減速への懸念が増したことを受けて、国内株式市況が一時的に下落したことなどが基準価額の一時的な下落要因となりました。

**銘柄要因**

上位5銘柄・・・東洋合成工業、日本エム・ディ・エム、日東紡績、NITTOKU、タケエイ  
下位5銘柄・・・キャリアインデックス、夢の街創造委員会（2019年12月より「出前館」に社名変更）、ベクトル、セリア、SOU

第2期：2018年11月30日～2019年11月29日

## 投資環境について

### 国内株式市況

#### 国内株式市況は上昇しました。

期首から2018年12月下旬にかけては、米国における長短金利差の縮小や米中関係の悪化を受けて景気減速への懸念が増したことから大幅に下落しました。2019年1月上旬から8月下旬にかけては、米国において利上げ打ち止めから金融緩和への姿勢転換などを好感し上昇する局

面もありましたが、その後は国内企業の2019年3月期決算が軟調であったことなどから下落しました。

9月上旬から期末にかけては、米中貿易摩擦への過度な懸念が後退したことや米国および欧州における金融政策緩和が好感されたことなどから、国内株式市況は上昇しました。

## 当該投資信託のポートフォリオについて

### いちよし ジャパン・ベンチャー・ファンド

いちよし 公開ベンチャー・マザーファンド受益証券を通じて、わが国の株式に投資しています。株式の実質組入比率は高位を維持しました。

### いちよし 公開ベンチャー・マザーファンド

組入銘柄数は概ね65～75銘柄程度で推移させました。株価水準やファンダメンタルズの変化、新規投資候補銘柄との相对比较等を勘案し、適宜入れ替えを行いました。期首、期末の比較では、企業向けビックデータの生成・提供と活用サービスの企画開発などを手掛けるダブルスタンダードや経営コンサルタントのリンク

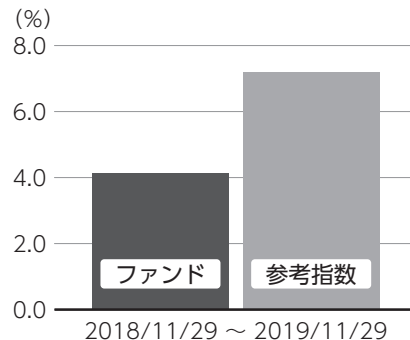
アンドモチベーションなど実質16銘柄を新規に組み入れました。一方、タブレット向けタッチパネル製品を手掛けるN I S S H A、S N S マーケティング支援などを行うアライドアーキテクトなど実質21銘柄を全株売却しました。なお、期首に組み入れていたエレクトロニクス商社のバイテックホールディングスは同業のU K Cホールディングスを合併存続会社とする経営統合によって、バイテックホールディングス1株につきU K Cホールディングス1株が割り当てられました。U K Cホールディングスは2019年4月より商号をレスターホールディングスと変更しており、期末時点でも継続保有しています。

## 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは当ファンド（ベビーファンド）の基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数はJASDAQ INDEXです。

### 基準価額と参考指数の対比（騰落率）



## 分配金について

分配対象額は、経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額とし、原則として、決算日の前営業日の基準価額に応じ、以下の金額の分配をめざします。

決算日の前営業日の基準価額	分配金額（1万口当たり、税引前）
11,000円未満	経費控除後の配当等収益の範囲内
11,000円以上13,000円未満	500円
13,000円以上	1,000円

※基準価額が上記の一定の水準に一度でも到達すればその水準に応じた分配を続ける、というものではありません。

※分配により基準価額は下落します。そのため、基準価額に影響を与え、次期以降の分配金額は変動する場合があります。

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

## 分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第2期 2018年11月30日～2019年11月29日
当期分配金 (対基準価額比率)	- (-%)
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	87

(注) 対基準価額比率は当期分配金 (税込み) の期末基準価額 (分配金込み) に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針 (作成対象期間末での見解です。)

### ▶ いちよし ジャパン・ベンチャー・ファンド

今後も、いちよし 公開ベンチャー・マザーファンド受益証券を高位に組み入れる方針です。

### ▶ いちよし 公開ベンチャー・マザーファンド

上場企業のうち、ファンダメンタルズ (財務状況の基礎的条件) が良好で高い成長力を有し、近い将来において飛躍期を迎える可能性が高いと判断され、次のステージでのビジネスモデル、ビジネスプランが明確であると判断される企業を「公開ベンチャー」と位置付け、これらの企業を中心に投資を行います。運用にあたっては中小型株に特化した、いちよ

シアセットマネジメント株式会社の運用アドバイスを受けた、ボトムアップ・アプローチによる銘柄選定を行います。

中小型成長株を取り巻く環境を注意深く見極めながら、個別企業への調査等により、株価の割安感が強まっていると判断される優良な中小型成長株への注目度を高めていくとともに、ファンダメンタルズ以上に株価上昇がみられる銘柄及び短期間で株価が大幅に上昇したと判断される銘柄については、利益確定の売却や組入比率の調整などを行い、比較的株価が割安水準にあって成長期待の大きい中小型成長銘柄への入れ替えを継続することでパフォーマンスの改善に努めていく方針です。



2018年11月30日～2019年11月29日

## 1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	157	1.841	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
( 投 信 会 社 )	( 83)	(0.975)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
( 販 売 会 社 )	( 65)	(0.758)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
( 受 託 会 社 )	( 9)	(0.108)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	5	0.064	(b) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
( 株 式 )	( 5)	(0.064)	
(c) その他費用	0	0.003	(c) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
( 監 査 費 用 )	( 0)	(0.003)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
( そ の 他 )	( 0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	162	1.908	

期中の平均基準価額は、8,533円です。

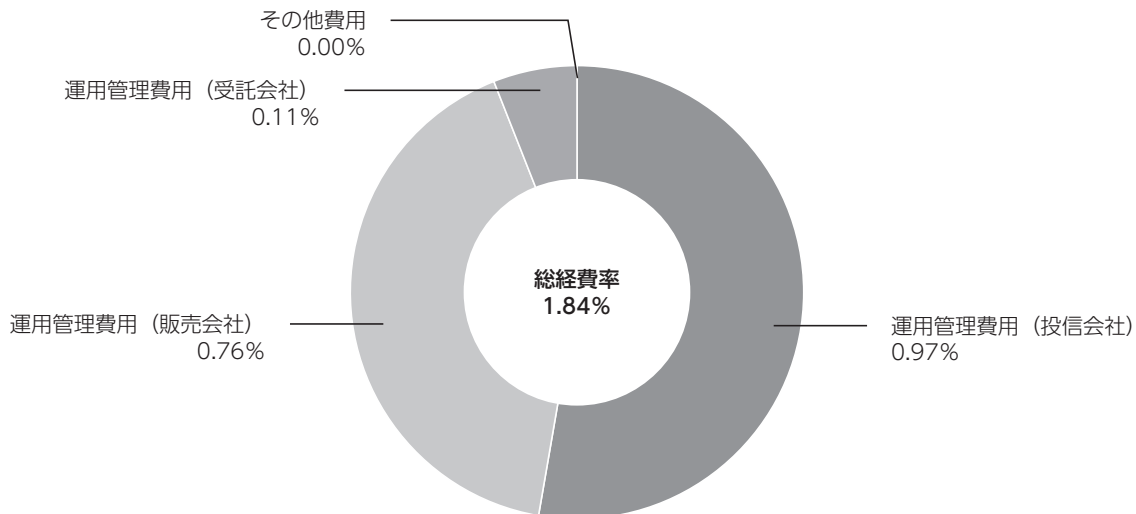
- (注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

- (注) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
- (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## (参考情報)

### ■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.84%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

(2018年11月30日～2019年11月29日)

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
いちよし 公開ベンチャー・マザーファンド	千口 —	千円 —	千口 5,632,495	千円 5,377,022

## ○株式売買比率

(2018年11月30日～2019年11月29日)

## 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期	
	いちよし 公開ベンチャー・マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	12,139,337千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	15,100,196千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.80	

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

## ○利害関係人との取引状況等

(2018年11月30日～2019年11月29日)

## 利害関係人との取引状況

&lt;いちよし ジャパン・ベンチャー・ファンド&gt;

該当事項はございません。

&lt;いちよし 公開ベンチャー・マザーファンド&gt;

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
株式	百万円 3,425	百万円 549	% 16.0	百万円 8,713	百万円 1,307	% 15.0

平均保有割合 91.8%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

### 売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	8,889千円
うち利害関係人への支払額 (B)	1,370千円
(B) / (A)	15.4%

(注) 売買委託手数料総額は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJモルガン・スタンレー証券、モルガン・スタンレーMUF G証券です。

### ○組入資産の明細

(2019年11月29日現在)

#### 親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
いちよし 公開ベンチャー・マザーファンド	18,014,070	12,381,574	13,722,499

### ○投資信託財産の構成

(2019年11月29日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
いちよし 公開ベンチャー・マザーファンド	13,722,499	98.8
コール・ローン等、その他	171,386	1.2
投資信託財産総額	13,893,885	100.0

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年11月29日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	13,893,885,366
コール・ローン等	152,807,197
いちよし 公開ベンチャー・マザーファンド(評価額)	13,722,499,489
未収入金	18,578,680
(B) 負債	175,054,177
未払解約金	53,281,595
未払信託報酬	121,586,548
未払利息	138
その他未払費用	185,896
(C) 純資産総額(A-B)	13,718,831,189
元本	14,087,570,137
次期繰越損益金	△ 368,738,948
(D) 受益権総口数	14,087,570,137口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,738円

## &lt;注記事項&gt;

- ①期首元本額 20,090,746,941円  
 期中追加設定元本額 1,611,367円  
 期中一部解約元本額 6,004,788,171円  
 また、1口当たり純資産額は、期末0.9738円です。

②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は368,738,948円です。

## ③分配金の計算過程

項 目	2018年11月30日～ 2019年11月29日
費用控除後の配当等収益額	117,593,722円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	－円
収益調整金額	6,227,186円
分配準備積立金額	－円
当ファンドの分配対象収益額	123,820,908円
1万口当たり収益分配対象額	87円
1万口当たり分配金額	－円
収益分配金金額	－円

\*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

## ○損益の状況 (2018年11月30日～2019年11月29日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 44,799
受取利息	251
支払利息	△ 45,050
(B) 有価証券売買損益	803,038,803
売買益	1,195,701,488
売買損	△ 392,662,685
(C) 信託報酬等	△ 256,907,076
(D) 当期繰越損益金(A+B+C)	546,086,928
(E) 前期繰越損益金	△1,041,964,319
(F) 追加信託差損益金	127,138,443
(配当等相当額)	( 6,225,180)
(売買損益相当額)	( 120,913,263)
(G) 計(D+E+F)	△ 368,738,948
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	△ 368,738,948
追加信託差損益金	127,138,443
(配当等相当額)	( 6,227,186)
(売買損益相当額)	( 120,911,257)
分配準備積立金	117,593,722
繰越損益金	△ 613,471,113

(注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

# いちよし 公開ベンチャー・マザーファンド

## 《第3期》決算日2019年11月29日

[計算期間：2018年11月30日～2019年11月29日]

「いちよし 公開ベンチャー・マザーファンド」は、11月29日に第3期の決算を行いました。  
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第3期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	主として中長期的な値上がり益の獲得をめざして運用を行います。
主要運用対象	わが国の金融商品取引所上場（これに準ずるものを含みます。）株式
主な組入制限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・株式への投資割合に制限を設けません。</li> <li>・株式以外の資産への投資割合は、原則として信託財産の総額の50%以下とします。</li> <li>・外貨建資産への投資は行いません。</li> </ul>

### ○設定以来の運用実績

決算期	基準価額		(参考指数)		株式組入比率	株式先物比率	純資産総額
	期騰落	中率	JASDAQ	INDEX			
(設定日)	円	%			%	%	百万円
2017年10月20日	10,000	—	160.93	—	—	—	0.01
1期(2017年11月29日)	11,092	10.9	172.76	7.4	98.0	—	12,993
2期(2018年11月29日)	10,435	△ 5.9	156.46	△9.4	98.2	—	20,309
3期(2019年11月29日)	11,083	6.2	167.74	7.2	98.5	—	15,025

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) JASDAQ INDEXとは、JASDAQ上場の内国株券全銘柄を対象として時価総額加重平均方式に基づき算出される株価指数です。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		( 参 考 指 数 )		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
	騰 落 率	J A S D A Q I N D E X 騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率		
(期 首) 2018年11月29日	円	%		%	%	%
	10,435	—	156.46	—	98.2	—
11月末	10,538	1.0	156.55	0.1	98.6	—
12月末	8,662	△17.0	136.69	△12.6	97.4	—
2019年1月末	9,178	△12.0	145.09	△7.3	98.9	—
2月末	9,649	△7.5	151.98	△2.9	98.3	—
3月末	9,552	△8.5	153.05	△2.2	97.0	—
4月末	9,893	△5.2	153.84	△1.7	98.0	—
5月末	9,130	△12.5	145.16	△7.2	98.7	—
6月末	9,528	△8.7	147.60	△5.7	98.5	—
7月末	9,870	△5.4	151.44	△3.2	98.1	—
8月末	9,235	△11.5	146.13	△6.6	97.9	—
9月末	9,755	△6.5	153.82	△1.7	98.5	—
10月末	10,509	0.7	159.67	2.1	97.3	—
(期 末) 2019年11月29日	11,083	6.2	167.74	7.2	98.5	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

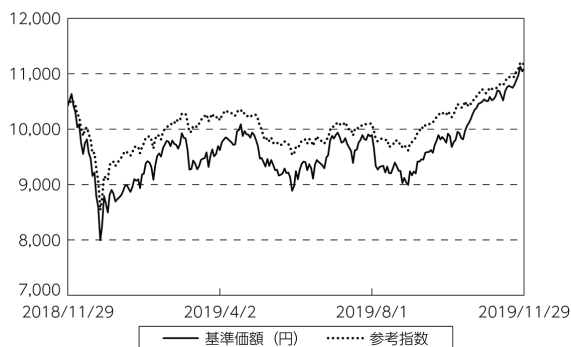
## ○運用経過

## ●当期中の基準価額等の推移について

## ◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ6.2%の上昇となりました。

## 基準価額等の推移



(注) 参考指数は期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指数化しています。

## ● 基準価額の主な変動要因

### (上昇要因)

米国および欧州における金融政策緩和を受けて世界経済悪化への過度な警戒感が後退したことなどを背景に国内株式市況が上昇したことが基準価額の上昇要因となりました。

### (下落要因)

米中関係の悪化による景気減速への懸念が増したことを受けて、国内株式市況が一時的に下落したことなどが基準価額の一時的な下落要因となりました。

### (銘柄要因)

上位5銘柄…東洋合成工業、日本エム・ディ・エム、日東紡績、NITTOKU、タケエイ  
下位5銘柄…キャリアインデックス、夢の街創造委員会(2019年12月より「出前館」に社名変更)、ベクトル、セリア、SOU

## ● 投資環境について

- ・国内株式市況は上昇しました。
- ・期首から2018年12月下旬にかけては、米国における長短金利差の縮小や米中関係の悪化を受けて景気減速への懸念が増したことなどから大幅に下落しました。
- ・2019年1月上旬から8月下旬にかけては、米国において利上げ打ち止めから金融緩和への姿勢転換などを好感し上昇する局面もありましたが、その後は国内企業の2019年3月期決算が軟調であったことなどから下落しました。
- ・9月上旬から期末にかけては、米中貿易摩擦への過度な懸念が後退したことや米国および欧州における金融政策緩和が好感されたことなどから、国内株式市況は上昇しました。

## ● 当該投資信託のポートフォリオについて

組入銘柄数は概ね65～75銘柄程度で推移させました。株価水準やファンダメンタルズの変化、新規投資候補銘柄との相対比較等を勘案し、適宜入

れ替えを行いました。期首、期末の比較では、企業向けビックデータの生成・提供と活用サービスの企画開発などを手掛けるダブルスタンダードや経営コンサルタントのリンクアンドモチベーションなど実質16銘柄を新規に組み入れました。一方、タブレット向けタッチパネル製品を手掛けるNISSHA、SNSマーケティング支援などを行うアライドアーキテクツなど実質21銘柄を全株売却しました。なお、期首に組み入れていたエレクトロニクス商社のパイテックホールディングスは同業のUKCホールディングスを合併存続会社とする経営統合によって、パイテックホールディングス1株につきUKCホールディングス1株が割り当てられました。UKCホールディングスは2019年4月より商号をレスターホールディングスと変更しており、期末時点でも継続保有しています。

## ○ 今後の運用方針

上場企業のうち、ファンダメンタルズ(財務状況の基礎的条件)が良好で高い成長力を有し、近い将来において飛躍期を迎える可能性が高いと判断され、次のステージでのビジネスモデル、ビジネスプランが明確であると判断される企業を「公開ベンチャー」と位置付け、これらの企業を中心に投資を行います。運用にあたっては中小型株に特化した、いちよしアセットマネジメント株式会社の運用アドバイスを受けた、ボトムアップ・アプローチによる銘柄選定を行います。

中小型成長株を取り巻く環境を注意深く見極めながら、個別企業への調査等により、株価の割安感が強まっていると判断される優良な中小型成長株への注目度を高めていくとともに、ファンダメンタルズ以上に株価上昇がみられる銘柄及び短期間で株価が大幅に上昇したと判断される銘柄については、利益確定の売却や組入比率の調整などを行い、比較的株価が割安水準にあって成長期待の大きい中小型成長銘柄への入れ替えを継続することでパフォーマンスの改善に努めていく方針です。



## ○1万口当たりの費用明細

(2018年11月30日～2019年11月29日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 ( 株 式 )	円 6 (6)	% 0.064 (0.064)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(b) そ の 他 費 用 ( そ の 他 )	0 (0)	0.000 (0.000)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	6	0.064	
期中の平均基準価額は、9,623円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2018年11月30日～2019年11月29日)

## 株式

国 内	上場	買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
		千株	千円	千株	千円
		1,830	3,425,775	5,393	8,713,561
		( 383)	( - )		

(注) 金額は受渡代金。

(注) ( )内は株式分割・増資割当および合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

## ○株式売買比率

(2018年11月30日～2019年11月29日)

## 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	12,139,337千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	15,100,196千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.80

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

## ○利害関係人との取引状況等

(2018年11月30日～2019年11月29日)

## 利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$ %	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$ %
株式	百万円 3,425	百万円 549	16.0	百万円 8,713	百万円 1,307	15.0

## 売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	9,682千円
うち利害関係人への支払額 (B)	1,493千円
(B) / (A)	15.4%

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJモルガン・スタンレー証券、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

## ○組入資産の明細

(2019年11月29日現在)

## 国内株式

銘柄	期首(前期末)		当 期 末	
	株 数	株 数	株 数	評 価 額
	千株	千株	千株	千円
<b>建設業 (1.0%)</b>				
日本アクア	311.1	—	—	—
<b>食料品 (1.3%)</b>				
ビックスコーポレーション	—	68.7	190,161	
<b>化学 (12.8%)</b>				
日本化学工業	74.1	74.1	237,861	
東京応化工業	122.2	50	203,750	
第一工業製薬	99.8	99.8	372,254	
日本特殊塗料	109.5	109.5	153,409	
エステー	74.7	74.7	128,334	
東洋合成工業	149.6	62	218,550	
レック	—	149	192,657	
J S P	—	92	175,168	
信越ポリマー	220.2	220.2	210,731	
<b>医薬品 (4.8%)</b>				
あすか製薬	206.2	206.2	276,514	
富士製薬工業	76.6	76.6	107,929	
ダイト	79.8	79.8	254,163	
ベプチドリーム	142.5	13.4	67,402	
<b>ガラス・土石製品 (2.3%)</b>				
日東紡績	136.3	22.1	89,063	
MARUWA	—	33.7	254,098	
<b>機械 (14.4%)</b>				
ソディック	287.8	287.8	294,995	
N I T T O K U	135.6	135.6	494,262	
日進工具	56	56	128,128	
パンチ工業	377.9	377.9	219,559	
タツモ	125.8	125.8	151,337	
日精エー・エス・ビー機械	—	50.8	242,824	
ハーモニック・ドライブ・システムズ	87.3	44	209,220	
澁谷工業	87.5	66.7	207,103	
タダノ	—	175.3	187,571	
鈴茂器工	38.9	—	—	
キトー	130.2	—	—	

銘柄	期首(前期末)		当 期 末	
	株 数	株 数	株 数	評 価 額
	千株	千株	千株	千円
<b>電気機器 (9.8%)</b>				
トレックス・セミコンダクター	149	149	220,967	
メイコー	—	135.8	308,809	
スミダコーポレーション	133.7	133.7	172,071	
オブテックスグループ	156.2	156.2	252,106	
アパールデータ	139.7	139.7	316,699	
山一電機	109.5	109.5	175,419	
<b>輸送用機器 (1.0%)</b>				
三菱ロジスネクスト	—	115.5	141,372	
<b>精密機器 (3.0%)</b>				
日本エム・ディ・エム	—	145	335,530	
朝日インテック	135.3	14.6	46,574	
CYBERDYNE	189.7	110.6	67,687	
<b>その他製品 (0.9%)</b>				
萩原工業	—	81.4	130,891	
N I S S H A	200.3	—	—	
<b>倉庫・運輸関連業 (1.0%)</b>				
キューソー流通システム	112.1	77.3	144,628	
<b>情報・通信業 (8.1%)</b>				
出前館	218.3	176.3	231,834	
じげん	566.5	410.8	228,815	
C R I ・ ミドルウェア	—	76.8	157,747	
ダブルスタンダード	—	45.1	245,795	
ソーシャルワイヤー	81.4	—	—	
ビーブラッツ	29.2	19.2	44,467	
ロジザード	—	46	95,082	
クレスコ	30.7	—	—	
ビジョン	123.5	110.7	196,935	
<b>卸売業 (5.3%)</b>				
ラクーンホールディングス	290.8	—	—	
レスターホールディングス	—	110	219,230	
歯愛メディカル	42.8	—	—	
日本エム・ディ・エム	453.5	—	—	
シークス	196.3	196.3	296,609	

銘柄	期首(前期末)		当 期 末	
	株 数	株 数	株 数	評 価 額
	千株	千株	千株	千円
SOU	61.1	122.2	275,927	
バイテックホールディングス	110	—	—	
小売業 (12.6%)				
セリア	106.2	71.1	204,839	
DDホールディングス	123.8	226.9	349,199	
ファンデリー	75.7	—	—	
シュッピン	444.7	421.2	475,956	
BEENOS	115.5	—	—	
トリドールホールディングス	115.7	115.7	336,455	
アルビス	81.7	81.7	186,684	
ハンズマン	90.4	90.4	114,717	
シルバーライフ	—	61.6	197,120	
保険業 (2.5%)				
アニコム ホールディングス	141.3	104.7	376,396	
その他金融業 (2.8%)				
C a s a	321.2	321.2	408,887	
不動産業 (—%)				
ユニゾホールディングス	58.2	—	—	
トーセイ	216.9	—	—	
サービス業 (17.4%)				
タケエイ	272.2	272.2	342,155	
リンクアンドモチベーション	—	349.3	244,859	
エスクリ	173	115	92,000	

銘柄	期首(前期末)		当 期 末	
	株 数	株 数	株 数	評 価 額
	千株	千株	千株	千円
ジャパンベストレスキューシステム	65.3	—	—	
オールアバウト	203.3	—	—	
ライク	100.5	100.5	171,654	
シーティーエス	443	443	330,921	
イー・ガーディアン	84.6	84.6	185,697	
バクトル	263.5	263.5	282,208	
トレンダーズ	172.6	—	—	
I B J	343.7	—	—	
アライドアーキテクト	680.8	—	—	
シンメンテホールディングス	84.2	75.5	154,775	
アトラエ	158.7	46.1	172,183	
ペイカレント・コンサルティング	42.3	—	—	
キャリアインデックス	162	162	68,040	
エル・ティー・エス	126.7	126.7	178,900	
日総工業	100	—	—	
日本ホスピスホールディングス	—	85.6	193,028	
東洋	—	63.4	159,641	
丹青社	229	—	—	
ダイセキ	38.9	—	—	
合 計	株数・金額	12,294	9,115	14,798,567
	銘柄数<比率>	74	69	<98.5%>

(注) 銘柄欄の( )内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。  
(注) 評価額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

## ○投資信託財産の構成

(2019年11月29日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	14,798,567	98.3
コール・ローン等、その他	253,310	1.7
投資信託財産総額	15,051,877	100.0

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年11月29日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	15,051,877,786
コール・ローン等	199,850,666
株式(評価額)	14,798,567,000
未収配当金	53,460,120
(B) 負債	26,199,601
未払解約金	26,199,421
未払利息	180
(C) 純資産総額(A-B)	15,025,678,185
元本	13,557,116,903
次期繰越損益金	1,468,561,282
(D) 受益権総口数	13,557,116,903口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,083円

## &lt;注記事項&gt;

- ①期首元本額 19,462,419,023円  
 期中追加設定元本額 177,865円  
 期中一部解約元本額 5,905,479,985円  
 また、1口当たり純資産額は、期末1.1083円です。

## ②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

いちよし ジャパン・ベンチャー・ファンド	12,381,574,925円
いちよし 公開ベンチャー・ファンド	1,175,541,978円
合計	13,557,116,903円

## ○損益の状況 (2018年11月30日～2019年11月29日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	219,366,498
受取配当金	219,485,265
受取利息	453
その他収益金	17,061
支払利息	△ 136,281
(B) 有価証券売買損益	135,727,586
売買益	2,674,921,187
売買損	△2,539,193,601
(C) 保管費用等	△ 2,776
(D) 当期損益金(A+B+C)	355,091,308
(E) 前期繰越損益金	847,177,331
(F) 追加信託差損益金	△ 10,341
(G) 解約差損益金	266,302,984
(H) 計(D+E+F+G)	1,468,561,282
次期繰越損益金(H)	1,468,561,282

- (注) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
 (注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。  
 (注) (G) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。